

哲學研究

第四十一卷 第六冊

第四百七十六號

昭和三十六年九月一日發行

神の現存と認識……………山田晶

——アウグスチヌスとトマスにおける——

John Locke における認識の問題(完) ……服部知文

——その體系の統一的把握について——

ヌース素描……………長坂公一

——晩年のプラトンが愛用した一用語の研究——

拙著に對する書評へ一言……………佐々木現順

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
- (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
- (二) 毎年公開講演會を開く
- (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委囑する
- 一、本會に賛助員若干名をおく
賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない
學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年一、五〇〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する
但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

湯本武松服蓮野西長土棚田武高園島重梶柿大白上井石池有
 淺吉藤尾部實田谷尾岐瀬中内田原澤山崎井野田賀
 幸良一義正重又啓雅邦襄美知義三太芳俊雄祐二照義太
 孫治雄海明康夫治人夫爾郎範郎郎夫郎一一顯尚夫勉仁祐郎

末な訂正を与えてくれてはいるが、評者は自ら私の結論をそのまま踏襲し、その上に坐して凡てを考えているからである。従って評者の実証なき罵倒は反って本書の論旨を一層確信あるものとなしてしまったようである。逆に確信を以て一層それを前進せしめるに役立つたという逆効果を与えた。私はこれ以後、紙上で言うべきことをひかえたい。評者が私の特殊分野にかかわらず、而も単なる部分的観察だけにかかわらず、複雑な教義を理解されようとした努力、並びに絶えず私のささやかな作品

に注意してくれていたことに対して衷心より謝意を述べたい。如何なるたくらみを持つたにしても、あのように学問の名をかたらってなすべきではあるまい。学術的理由なき単なる咆哮は逆効果しか及ばさず、学術雑誌の名をけがすものであるということも反省していただきたい。

(一九六一・一月)

(筆者大谷大学教授・ハーバード大学フルブライト交換教授在米)

前 号 目 次

	John Locke における	服 部 知 文
	——認識の問題	
	——その体系の統一の把握について——	
	ハイデッガーの超越……………	白 井 成 道
	デカルトの青春(完)……………	竹 田 篤 司
衆 報		

次 号 論 文 予 告

	神の現存と認識(完)……………	山 田 晶
	——アウグスティヌスとトマスにおける——	
	国家権力の社会的基礎……………	高 島 昌 二
	フランクフルト時代における	
	ヘーゲルの実存……………	向 井 守
	——特に美しい魂に関連して——	

京都哲学会公開講演会予告

日時 十一月十一日(土) 午後二時半

会場 京都大学文学部第一教室

一、題未定……………京都大学教授 有賀鉄太郎

一、自由概念の分析と弁証……………大阪大学助教授 平下欣一

☆ 右終了後楽友会館において懇談晩餐会を開きます。(会費約五〇〇円)

☆ 所屬機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京大文学部宗教学研究室までお申し出下さい。

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けませんが、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年一、五〇〇圓又は半年七五〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社（振替口座東京九二四七二番創文社）宛に願います
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい、（一年分又は半年分、會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附濟を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十六年八月三十日印刷
昭和三十六年九月一日發行

編集人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

編集代表

土 岐 邦 夫

發行人

久 保 井 理 津 男

印刷人

堀 内 文 治 郎

印刷所

堀 内 印 刷 所
東 京 都 神 田 三 崎 町 二 ノ 一 六

發 行 所

株 式 會 社

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番
電 話 九 ノ 内 包 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價一五〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

昭和三十六年八月三十日印刷
昭和三十六年九月一日發行
（每月一回）

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLI

September, 1961

No. 6

*The Problem of Omnipresence and Omniscience of God
in St. Augustine and St. Thomas Aquinas (I)*

..... Akira Yamada

On the Principle of Knowledge of John Locke (II)

..... Tomofumi Hattori

*Remarque sur la dérivation des sens du mot νοῦς
chez Platon.....*

Koichi Nagasaka

A Comment on the Review on My Book..... G. H. Sasaki

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價
一五〇圓

IMB 6427